

ベストプラクティス事業

事業名称：改革を担う職員と組織風土づくり

(1) 取組実績・目標達成状況

- ・東成区人材育成行動宣言の策定
- ・区長研修の実施：8回
- ・区役所独自の職員研修の実施：8回
- ・区長表彰の実施

上記取組については、すべて目標を達成した。また、これら取組に加えて、職員の士気や組織パフォーマンス向上に向けて、新たに次の取組も実施した。

- ・5S（整理、整頓、清掃、清潔、習慣化）等の生産性向上手法を取り入れ、職場のムダ、ムリ、ムラを削減するための取組を実施
- ・業務のマニュアル化を統一的に実施（283項目）

(2) 戦略に対する有効性（アウトカムの実現への貢献度）

区長自らが講師となり、係長級以上の職員に対して、仕事に対するモチベーションや未来創造型の発想による問題解決・目標達成法についての研修を行った。

また、5S等の生産性向上手法を取り入れたことにより、5Sの職場評価としては、33%の上昇が認められた。

これらの取組の結果、「仕事にやりがいを感じている・ある程度感じている職員の割合」が84%、「効果・効率的に業務を進めるため職員どうしの協力・連携がとれている職場である・どちらかといえばそうであると感じている職員の割合」が70%と高い数値のアウトカムにつながった。

(3) 汎用性

研修を通じた仕事に対するモチベーションや未来創造型の発想による問題解決・目標達成法の習得については、役割と責任の意識、経営意識、行動変革につながるものである。

また、5S等の生産性向上手法についても、職場のムダ、ムラ、ムリを削減するために有効であることから、どの職場においても同様に活用することができる。